

2022年度事業報告書(2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年度は、予定していた海外セミナーは実施できなかったが、国内セミナーはオンラインで開催することができた。保険フォーラムは3大学で開催でき、早稲田大学大学院会計研究科では新たに寄附講座(提携講座)が開講した。また、ベトナム保険協会奨学制度による奨学金の給費を新たに開始した。

運用環境については、国内では若干金利が上向いてきたが、低金利が続いた。満期償還を迎えた国債については、公社債を新たに購入した。

1. 事業報告

(1) 研修事業

① 海外現地セミナー

今年度の海外現地セミナーは、3か国で開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染が終息せず、開催を中止した。

開催地	開催時期	共催団体
中国	中止	—
フィリピン又はカンボジア	中止	—
韓国又はベトナム	中止	—

② 国内セミナー

国内(東京)セミナーは、春・秋共に、オンラインによるセミナーを開催した。

セミナー名	テーマ	開催期間	参加者数
OLIS 2022 Spring	コロナ禍における各国の生保営業	6/1～6/30	88名
OLIS 2022 Autumn	日本の生命保険業界の現状と成長戦略	11/1～11/30	105名

セミナー参加者にビデオを視聴してもらい、視聴レポートを提出した参加者にはセミナー修了証を交付した。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部「生命保険概論」は、10月より13年目(3年講座期間の第5ターム1年目)を開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所
春学期「生命保険数学特論」	9/5～9/9	対面実施
秋学期「生命保険概論」	10/6～1/19	慶應義塾大学日吉キャンパス

2014年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS・プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開講し、2022年度は9年目(3年講座期間の第3ターム3年目)を開始した。

学期「講座名」	開講期間	場所
金融工学	前期	中央大学理工学部
保険数理	後期	中央大学理工学部
アクチュアリー数理Ⅰ	前期	中央大学大学院理工学研究科
アクチュアリー数理Ⅱ (アクチュアリー数理特論)	後期	中央大学大学院理工学研究科

なお、中央大学理工学部・大学院理工学部研究科における寄附講座は、2023年度以降は寄附金残（2022年度期末残高 6,396,253円）を活用し、新たな寄附を行わずして開講される。

また、2022年度より、新たに早稲田大学大学院会計研究科で、寄附講座（提携講座）「生命保険の理論と経営」を開始した。

講座名	開講期間	場所
生命保険の理論と経営	9/30～1/27	早稲田大学早稲田キャンパス

② 保険フォーラム

本年度は、次のとおり3回開催した。

開催大学	テーマ	開催日	参加人数	方式
慶應義塾大学	Data Driven を志向する生命保険	7/30	44名	対面
立命館大学	保険・アクチュアリー・データサイエンスをつなぐ数学	9/2	71名	対面＋オンライン
九州大学	生命保険業界におけるキャリアパス～数学・数理科学を活かすには？～	11/12	50名	対面＋オンライン

※中央大学は中止した。

③ 講演会への助成

East Asia Risk Management and Insurance Workshop 主催、早稲田大学大学院会計研究科共催の「St. John's University, NY Jean Kwon 教授による新春講演会」へ助成を行った。

開催場所	テーマ	開催日	参加人数	方式
早稲田大学	保険市場の発展と今後の保険商品に係る歴史的考察	1/6	76名	対面

(3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生4名に対して一人5,000バーツ、合計20,000バーツ（約8万円）を7月に給費した。

ベトナムの大学において生命保険を学ぶ第三学年を修了した学生を対象とした奨学金制度「ベトナム保険協会奨学制度」について、奨学生9名に対して、総額3,000米ドル（約41万円）を12月に給費した。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳

「はじめて学ぶ生命保険」（ニッセイ基礎研究所松澤登著、保険毎日新聞社）を英語及び中国語（繁体字）に翻訳し、出版した。完成した各訳本は、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社及び国内関係機関へ、無償で配布した。

② ホームページの改修

オンラインセミナー動画、保険フォーラム開催案内など最新情報の発信に努めた。

③ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険の現状を共有することを目的に、「日本の生命保険事業の現状」、「コロナ保険は必要か?」、「為替レートと生命保険」、「日本における生命保険業界のスタートアップ事業」をテーマに、英語、日本語、中国語(繁体字・簡体字)の3か国語、4文体で財団ホームページに掲載した。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2022年度は次の方に運営委員会委員を依頼した。

① 運営委員の選任

- 森宮 康 委員 (明治大学名誉教授)
- 前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学特任教授(客員)、慶應義塾大学名誉教授)
- 山内 恒人 委員 (財団理事 元慶應義塾大学理工学部数理科学科特任教授)
- 飯島 至雄 委員 (財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員)
- 寺田 重陽 委員 (財団評議員 前財団理事長)

② 運営委員会の開催

- ・第1回運営委員会
- 日時 2022年12月13日 11時00分～
- 場所 赤坂エクセルホテル東急 舞の間
- 議題
 - ・2022年度事業報告
 - ・2023年度事業計画

(6) 寄附講座選考委員会の開催

- 日時 2022年4月18日 16時00分～
- 場所 (公財)アジア生命保険振興センター理事長室(Web会議システムによる開催)
- 議題
 - ・選考委員長及び選考副委員長の選任
 - ・中央大学寄附講座についての報告

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
第3回寄附講座選考委員会	2022年4月18日	選考委員長及び選考副委員長の選任、中央大学寄附講座についての報告
会計・業務監査会	2022年5月10日	2021年度事業と会計の監査
第31回理事会	2022年5月20日	2021年度事業報告及び財務諸表、定時評議員会開催、理事・監事候補者の推薦
第16回評議員会	2022年6月7日	2021年度事業報告及び財務諸表、理事・監事の選任
第32回理事会	2022年6月7日	代表理事の選定(全理事の同意及び全監事の確認を得たみなし決議)
第1回運営委員会	2022年12月13日	今後の事業展開
第33回理事会	2023年2月14日	2023年度事業計画及び収支予算 2023年度資産運用計画

3. 財務会計報告

(1) 公社債の売却

- ① 銘柄 第59回利付国債(基本財産)
- ② 売却日 2022年11月9日 (当売却は、償還日(2022年12月20日)までの期間が3か月以内であるため、当財団の満期保有目的は否定されない。)

- ③ 額面 120,000,000 円
- ④ 売却額、売却に伴う経過利息及び売却益合計額
121,022,021 円
- ⑤ クーポン 年 1.7% (毎年 6 月、12 月利払)
- ⑥ 売却後の運用
 - ・銘柄: ユーロ円建 株価指数連動債
 - ・発行体: モルガンスタンレーMUFG 証券
 - ・発行者格付: Moodys: A1, S&P: A+
 - ・期間: 20 年 (2043 年 2 月 10 日償還)
 - ・クーポン: 2023 年 8 月迄 1.7%
以降、償還期限迄
評価価格 ≥ 基準価格の場合 1.7%
評価価格 < 基準価格の場合 1.6%
(毎年 8 月、2 月利払)
 - ・評価価格: 評価日 (各利払日の 10 取引所営業日前) における日経平均株価の終値
 - ・基準価格: 23,786 円 (= 条件決定時の日経平均株価 × 90%)
 - ・額面: 120,000,000 円
 - ・受渡日: 2023 年 2 月 10 日

(2) 公社債の満期償還

- ① 銘柄 第 60 回利付国債 (基本財産)
- ② 償還日 2022 年 12 月 20 日
- ③ 額面 100,000,000 円
- ④ クーポン 年 1.4% (毎年 6 月、12 月利払)
- ⑤ 償還後の運用
 - ・銘柄: 第 76 回利付国債 (既発債)
 - ・期間: 30 年 (2052 年 9 月 20 日償還)
 - ・クーポン: 年 1.4%
(毎年 3 月、9 月利払)
 - ・額面: 100,000,000 円
 - ・買入額: 97,144,000 円
 - ・最終利回り: 1.54%
 - ・受渡日: 2022 年 12 月 23 日

4. 管理部門

(1) 財団オフィスのフロア移転

スポンサー会社からの要請に伴い、財団オフィスを、プルデンシャルタワー 20 階からプルデンシャルタワー 9 階にフロア移転した。